

2026 年（令和 8 年）

新春号

[第 35 号]

発行 東京鉄構工業協同組合  
〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階  
- 0032 TEL: 03 (5566) 1595  
FAX: 03 (5566) 1597

Tokyo  
Steel-rib  
Fabricating  
Association

Report

東構協

<http://www.tsfa.jp/>



東京の夜景



## 『協調・協力』

理事長 吉岡 晋吾

新年あけましておめでとうございます。成長と変革の年といわれた2025年。全国の最低賃金の平均が、1121円となり、景気の底上げ感が出てきたが、人件費の増加が企業への負担となり新規採用者と既存社員との格差が表れ社員のモチベーションが下がり、より賃金の高い企業への人材流出につながる恐れもある。また、利益が減少することが考えられ、2023年の鉄骨加工トン数の391万トンをピークに2024年、2025年と400万トンを下回り物価高騰と裏腹に鉄骨業界は景気低迷による値崩れが起きているのが現状である。東京においては、足元の鉄骨工事が薄い中、数年のうちに数万トンの大型プロジェクトの予定や、本体鉄骨工事のほか、耐震補強工事、附帯金物工事、各種補修工事など多種多様な鉄骨工事がある。その様な時にこそ、密な情報交換を行

い、仕事のシェアをするなどして単価の下落を防ぐ努力が必要不可欠になる。2026年には、今まで以上、人手不足や後継者不足などによる廃業、倒産が増えるのも必至である。

昨年2025年春より大阪万博が開催され、10月に出張理事会で見学に行った。閉幕一週間前で25万人の見学者の中、細かく見学をすることができなかったが、地元大阪の同業社の人たちに協力をして頂きながら素晴らしい体験ができた。50年前の大阪万博に続き再訪できたことに大変感激し、大阪の人たちに沢山のパワーを頂いた。万博会場隣地において IR の建築工事が始まろうとしていたので完成したらぜひ行って勝負してみたいと思う。

東京鉄構工業協同組合は、本年度も昨年同様、年11回の理事会（出張理事会・ウェブ理事会を含む）さらに年6回の東構塾、三役会、年2回のゴルフコンペ、地区会（東、西）を開催し

て組合員、協力会、関係団体との情報交換を行う予定だ。また再度、埼玉県と合同でフェーズドアレイ探傷器の研究、その他、各種講習会のサポート、後継経営者や管理職の教育と外国人研修制度の斡旋や女性従業員の積極的な採用を図り、さらに働く環境の整備を行い、永続的な人手不足を解消する努力をしていく。そして東京から全国に情報発信をしていきたいと思う。

人と人とのコミュニケーションがいろいろな問題を解決する大切な要素であると確信をしている。できるだけ、幅広く情報交換をし、それを共有し協調・協力の精神で業界の進化・発展する場を提供していきたいと思う。

『人間万事塞翁が馬』。人生における幸不幸は予想しがたく、幸が不幸に、不幸が幸にいつ転じるかわからないのだから、安易に喜んだり悲しんだりするべきではない、というたとえである。

2026年も健康第一、安全第一。そして業界の明るい未来に向けて日々精進していきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。

（吉岡工業社長）

## 組合理事役員 年頭のあいさつ

### あれ？財布？



副理事長

前田 茂昭

ある日会社に着いてから気づく。『あれ？財布がカバンに入っていない??』どこかで落とした!?と一瞬心がざわつく。

ただ私にしてみるとこんな事は日常茶飯事である。財布がない。車のカギがない。あれ？スマホどこ置いたっけ？と毎度毎度の些細なトラブルで数分後にはたいてい解決する。こんな時は落ち着いて脂汗を拭いて、最後に財布を見た瞬間まで自分の記憶を遡ってみる。

昨日の昼飯時には財布使ったな。その後は自分のデスク脇に置いているカバンの中に放り込んで…おっと！昨日は新調したバッグで、いつもと違う場所に財布入れたわ。多分バッグの感触がいつもと違い過ぎて、帰宅して中身を全て入れ替えたつもりが財布だけ取り残されたに違いないと確信。

とは言いつつ万が一落としてないか

という不安も拭いきれず、とっさに妻に電話。『ねえねえ、きのう使ったこげ茶のスエードのバッグに俺の財布入ってない?』『えー、どこにバッグあるの?』と妻。と！話した瞬間に別の不安が襲ってくる。『財布の中に妻に見られたくないモノは入っていないか?』。はいはい、見られたくないモノもそりゃ多少は入ってますよ。だって男の子ですもの。

『あー、でもやっぱいいわ。間違いなくどうせ入ってるはずだし』

『なんかよくわからないけど大丈夫なの?』

『全然大丈夫。まあ気にしないでおいで』

私は日ごろ結構遅くまでのんびり仕事している事が多いが、さすがにこんな日は不安に駆られていつもよりちょっとだけ早めに帰宅。『ただいま』と家に着いたら2階のクローゼットに直行。布の袋に入れた例のバッグは昨日のまま。袋の紐もちょうちょ結びのまんまである。この時点で二つ目の不安は解消された。『うんうん、あいつ見てないわ（確信）』。紐を解いてバッグを袋から取り出してみる。こげ茶のスエードでできたシンプルで小洒落たバッグだ。だが今はそんな事どうでもよく、バッグの中に恐る恐る手を入れてみる…

あったあった、ありました。ひとつめの不安も解消されました。ベトナム

出張の際に購入した二つ折りのアイツ（財布）がありました。

50も半ばを過ぎて、こんな事がほんとしょっちゅう起きるようになりました。いや、起こすようになりましたか。

まだ思い出して見つかるからよいものの、思い出せなくなる日も近いだろう。5年も経ったら月イチペースぐらいで何か無くすようになるんじゃないかととっても不安。歳は取りたくないものです。（前田製作所社長）

### 四毒抜き(続 花粉症が治った話)



副理事長

松田 一郎

以前、私は食事で花粉症が治った話を書きました。「摂る油を管理する」方法です。現在は「小麦粉と植物油を抜く」方法にしています。後者の方が日本人には健康的だとわかったので変更し、更にふたつの食品を抜く食事法「四毒抜き」を実践しています。

「四毒抜き」とは「小麦粉」「植物性の油」「甘いもの」「乳製品」を摂らない食事のことを言います。吉野敏明（よしりん）さんという医師がYouTubeで毎日この情報を発信しています。四毒抜きの詳細についてはそちらをご覧ください

### 仕事を分け合い苦境克服を 第39回通常総会を開催

当組合は5月29日、東京千代田区のアルカディア市ヶ谷で第39回通常総会を開催した。

総会ではすべての議案を満場一致で承認。とくに今年度事業計画では、①次世代経営者の育成への取り組み②出張理事会及び東京鉄構関連3団体の研

修旅行への参加③性能評価グレード認定のためのサポート体制強化④フェーズドアレイUT法を用いた実用的な溶接部検査手法の確立などの事業活動に取り組む。

吉岡理事長はあいさつで「昨年度の鉄骨需要が366万トンと2年連続で400万トン割れとなった。今年度も同じような展開が予想され、厳しい状況が続いている。ただ、国土強靱化対策など長期的に需要は控えているとみている。

情報を共有し、仲間同士で仕事を分け合い苦境を乗り越えていこう」と団結を呼びかけた。





ください。今回は私が約2年間実践し、それによって起こったと思われる体調の変化などを書きたいと思います。

花粉症の完治に加え、半年ほどで体重が約5kg減りました。高校生の頃と同じ体重で安定しています。ダイエットはしてません。食事の量は減らしていないどころか前より多少増えていると思います。三食しっかり食べただけ。毎食ご飯は一合食べます。

近眼が改善し運転免許の「眼鏡等」がなくなりました。他にも、腰痛・肩こり・四十肩・手足の指先痛・飛蚊症・二重あご・ぽっこりお腹・肌荒れなどが改善。特にぎっくり腰にならなくなったのは嬉しいです。以前は無理をするとたまに発症してました。

食事はご飯を中心にして油を使わない伝統的な和食が多くなりました。昔はラーメンが大好きで毎食でも良いくらい。各地のラーメンを食べ歩く趣味の代わりに十割そばの専門店を探して楽しんでいます。ぬか漬けは始めて約1年が経ちました。余談ですが一般的に言われるほどは難しくなく、ずぼらな私でもOK。「毎日混ぜる」「冷蔵庫に保管」など不要。週に1～2回しゃもじで軽く混ぜるだけ。夏の暑い室温でも乳酸菌が元気に繁殖しています。「甘いもの」は前から食べていません。料理に砂糖やみりんなどは不使用。「乳製品」も常食はしてませんが、ヨーグルトやチーズは好きでした。現在はや

めています。

「四毒抜き」で多少注意が必要なのは、一般的に体に良いとされる「植物性の油」でも一切摂りません。オリーブ油・エゴマ油・アマニ油なども精製された植物油は、オメガ3／6／9など関係なしに一切排除します。油の入っているドレッシングも避けます。炒め物もフライパンに油を敷くので極力控えます。天ぷら・とんかつ・から揚げなどは厳禁です。

吉野さんによると「四毒」とは私たち日本人が歴史的にはあまり食べてこなかった食品で、遺伝的に日本人の体質には合わない為、多くの病気の原因になっていると考えられるものです。病院に訪れる患者さんに普段何を食べているのかを時間を掛けて問診し、病気と食べ物の関係を丹念に調べ続け、頻出する食品を四つに絞り込み、それらを排除する食事指導で多くの症状を改善しているそうです。以下は特に効果を期待できる例です。

血糖値の安定化・脂肪燃焼の促進・腸内環境の改善・免疫力の向上・体が軽く感じられる・むくみたるみの解消・胃腸の不調の改善・現代病全般の予防改善・アトピーの改善・肌質の改善（シミ・くすみの軽減）・肌荒れニキビ跡の改善・心の安定感の向上・うつ症状の改善。

吉野さんの動画のコメント欄はいつも、数え切れない症状が治った感謝の

言葉にあふれています。薬も使わずに食べる物を変えるだけで多くの病気が治るなど一般常識では考えられない話ですが、私は自分の体験から「これは本物だ」と確信しました。

(松田鋼業社長)

## ファイナルカウントダウン



理事

池田 和隆

「人生八十年」とよく耳にする。医療の発達により、平均寿命が延びたことは喜ばしい。しかし、果たして八十歳まで思うように体が動くだろうか。現実を見つめると、本当にアクティブに動ける期間はせいぜい七十歳くらいまでではないだろうか。

私は今、この「動ける時間」の有限性を改めて意識している。きっかけは、つい最近のぎっくり腰だ。重い荷物を持ち上げた瞬間、腰に違和感が走った。幸い本格的なぎっくり腰には至らなかったが、これは明らかな警告信号である。若い頃は無理が利いた体も、確実に変化している。

この経験から、私は決意した。ピラティス教室に通い、体を根本から鍛え直そうと思う。ピラティスとは、二十

### 管理技術者試験準備講習会

#### 1級196人、同2級122人受講

当組合は、9月27、28の2日間、東京都千代田区の連合会館で鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を開催した。同1級が196人、同2級が122人の計318人が受講した。

同講習会は10月18日に鉄骨技術者教育センターの主催のもと、全国一斉

に実施される本試験のための準備講習会。

講師は、鉄骨製作管理技術者1級が加賀美安男氏（日建設計エンジニアリング部門構造設計グループ鋼構造エンジニア）、同2級は大塚英郎氏（大林組東京本店建築事業部品質管理部上級主席技師）が担当した。

午前中はテキストとプロジェクターを使用しながら鉄骨構造、鉄骨加工、品質管理、安全衛生、建築法規一般な

ど試験問題の概要や要点などを解説。午後からは模擬試験とその解説を実施した。



世紀初頭にドイツ人のジョセフ・ピラティス氏が考案したエクササイズで、体幹の深層筋を鍛えることに重点を置いている。激しい動きではなく、呼吸と連動させながらゆっくりとした動作で筋肉を鍛えるため、年齢や体力に関係なく始められるのが特徴だ。

特に注目すべきは、背骨周りのインナーマッスルを強化できる点だ。これにより姿勢が改善され、腰痛予防にも効果的とされている。まさに私のような「ぎっくり腰予備軍」にとって理想的なエクササイズと言える。柔軟性とバランス感覚も養えるため、転倒予防にもつながる。今から体力の「貯金」をしておかなければ、せっかくの残された時間を思うように使えなくなってしまう。

同時に考えているのは、お金との向き合い方だ。老後資金は確かに大切だ。しかし、必要以上に貯め込んで、本当にやりたいことを我慢し続けるのは本末転倒ではないだろうか。体が動くうちに、経験という名の「資産」を積み重ねたい。

旅行に行く、新しい趣味を始める、美味しいものを食べる、大切な人と時間を過ごす。こうした経験は、通帳の数字では測れない豊かさを人生にもたらしてくれる。もちろん無計画な浪費は避けるべきだが、「いつか」のために今を犠牲にしすぎてはいないだろうか。

私たちの世代は、まさに人生のファイナルカウントダウンに差し掛かっている。残された時間は、思っているよりも短いかもしれない。だからこそ、体力づくりと適度な資金の活用を両立

させ、充実した日々を送りたい。

ピラティス教室への入会は、私にとってその第一歩だ。健康な体という土台があってこそ、人生を存分に楽しめる。皆さんも、自分なりの「カウントダウン」の過ごし方を考えてみてはいかがだろうか。

(池田鉄工社長)

## 引越し



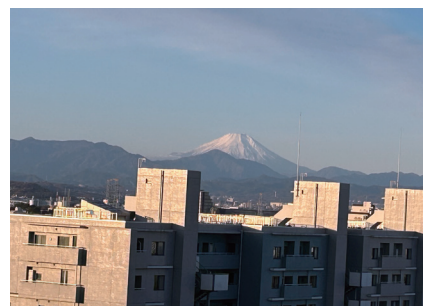
理事

森 芳恒

毎年12月になるとリポート東構協の原稿で何を書こうか頭を悩ませているのですが、昨年は9月に引っ越しをしたので、皆様へご報告がてら引越に至った経緯と、改めて気が付いたことをご報告させていただきます。

まず、なぜこのタイミングで引越しをしたのかというと、東京都心のマンションの売り出し価格の平均が1億円を超えたとか、売る物件がないので中古物件も値上がりしているとのニュースを耳にしたのが始まりでした。大手不動産会社の一斉見積のようなサイトがあり、「あなたのマンションはこんなに高く売れます」みたいなフレーズで査定物件を探していました。もちろん無料でしたので、どんなものかなと思い軽い気持ちで入力してみました。

我が家はご存じの方も多いのですが、東京都とはいえ八王子市のマンション。26年前に約4500万円で購入し、35年ローン残金1500万円でした。バブル崩壊後には当マンションが築浅なのに2000万円台で売りの出ていたこともあります。その時はかなりショックで手放せば絶対に損をするマンションを買ってしまい、高く売るなんて事は絶対に出来ないんだと思っていたのです。しかし、査定で出てき



た金額は3980万円だったのです。もちろん詳しい査定はしていませんので「物件の状況によってはもっと高く売れます」と不動産業者は言ってきました。そこで、ローンが払えなくて手放すわけでもないで、売れなくてもかまわないので26年間ほぼタダで住んだことになる金額4280万で売りに出してみました。

売り出し初日に5件問い合わせがありました。その翌日、1件目の問い合わせの方が買いを入れてしまいました。そして、あれよあれよという間に契約が進み、慌てて引っ越し先を探すことになってしまったのです。

そこで、新たな家探しです。新築の買い物件を探すのは時間的に難しいので、賃貸の新しい物件を探すことにしました。賃貸物件は非常にたくさんあり、かなり悩みましたが駅近の物件にしたのです。何せ26年ぶりの急な引っ越しです。まあ物が多いこと多いこと、捨てるでも捨てるでも減りません。さらに、ベッドの下やタンスの下の26年間の埃は半端じゃありませんでした。新居は見事に箱だらけになり、絶望的状况でした。何とか1カ月以上掛かってやっと箱の山も片付き、ベランダから外を見ると美しい富士山が見えました。実は旧居も26年前は富士山が見えていたのですが、八王子にもマンションやビルが建ち見えなくなっていて、部屋からの眺望は忘れていたのです。昔と変わらぬ富士山が見えて新たに、もうひと踏ん張りできそうな気分になって、気持ちが新たになった引っ越しでした。

(日本鉄構建設工業社長)





## 若者の離職と退職代行



理事

椎名 輝雄

経営者なら誰しもが口を揃えて訴えるように、若者の離職率が高いという問題が深刻かつ非常に身近なものとしてある（当然、弊社にとっても無関係な問題ではない）。労働環境や給与・待遇への不満、人間関係の不和などが主な原因とされるが、乱暴な言い方をすれば、程度の差こそあれども昔からそういう不満や不和はあったのだ。ただその一方で、先輩からの愛もあった。ここで言う若者とは10代、20代は当然のこと（国連では15歳から24歳までの人々と定義）、もう少し分別や我慢強さがあっても良いと思われる30代（40歳未満）も含まれる。

昨今、退職代行なるものが一種の流行りの如く横行し、様々なトラブルを引き起こして世の批判を浴びる事態ともなっている。内容によっては弁護士法違反の恐れがあるらしく、弁護士資格を持たない一般の業者が交渉を代行すると「非弁行為」に当たる可能性があり、退職が認められなかったり、損害賠償を請求されたりするリスクが高いという。新入社員の早期離職が加速している背景にはこうした「退職代行」

サービスの存在とそれに頼る若者の安易さや甘えがあると思われる。

厚生労働省の調査によると、新規学卒者の約3～4割が3年以内に離職しているとの結果が出た。特に宿泊業、飲食サービス業、小売業など特定の産業で離職率が高い傾向があるとのことだが、この点でファブリケーターを含む製造業や建設業も負けてはいないのではなかろうか（あくまで個人的な感想）。多くの場合、労働時間の長さや少ない休日日数に加え、いざ働いてみたら思っていた感じと違って（希望通りの働き方ができるなんて稀だと思うのだが）などが離職の理由となっているようだ。

もちろん、労働条件のミスマッチは無いに越したことはない。ただ、「住めば都」のことわざもあるように、多少の不都合やミスマッチがあっても働き続けていけば、苦しいことばかりでなく、楽しいこともあって自然と職場になじんでくるのではないかな。今の若者にはそれまでの我慢が足りない気がしてならない…などと書くも爺むさく感じるかもしれないが、これが私の率直な感想なのです。

時代が変われば、働き方の価値観も変化するのもいたし方ないし、理解もできる。だからこそ私はあえて言いたい。時代が変わっても変わらぬものとして、人には愛を持って接する（そうすれば相手もそれに応えてくれるはず）。そして我慢できる人が一番強い

（人間は自分に負けてしまいがちだが、ぐっところえて立ち向かう人ほど強い）のだと。（叶産業社長）

## 目的と目標



理事

金本 貴範

最近ではただ業務をこなして日々過ごしている人が多いと思います。毎日同じ業務の繰り返しと私生活では衣・食・住を元に炊事・洗濯・掃除など日々の暮らしの中で繰り返すことが多分にあると考えます。同じ事の繰り返しで果たしてそれで満足できる人生といえるのでしょうか？幸せといえるのか？幸せの定義とは？など日々考えられる人は中々いないと思います。幸せの形は人それぞれ違いますし、他人への理解がとても重要になるでしょう。

主語が【私】でなく【あなた】に考えが慣れれば色々な視点が見えてくる人間になると思っております。やはり人生においては目的をハッキリ決めて、それに対する目標設定と目標を達成するための行動を実行する為の意識が必要と思われます。

何か一つやりがいを持ち、何か一つ興味を持ち、何か一つ楽しみを持つ事で必然と目的を設定できると思います。

## 鉄骨製作図の契約と法令の説明会

### 吉岡理事長が講師となり解説

当組合は全構協が図面承認遅延問題の対応策として推進する「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」の説明会を2月27、28の両日、組合会議室で開催した。説明会にはリモート参加も含めて計38社が出席した。

吉岡理事長が講師を務め、松田一朗副理事長がこれを補佐した。吉岡理事長は全構協が同タイトルの冊子を制作するに至った経緯や背景などを説明。受注における細かな取り決めを明文化した「見積条件書特記事項」について解説した。その中で作業の期限を明確にする「もの決め工程表」を作成し、注文者と作業スケジュールを共有する重要性を強調した。休憩を挟んで、建

設業法や下請法、独占禁止法などの適用例を説明した。



また、人生100年時代といわれる世の中で自分がどう生きたいかの人生プランはどの年代にも必要ではないでしょうか？

仕事の引退、子供の巣立ち、親の介護、自分の夢の実現、事業承継など人生最後までやらなければいけない事が様々あると思います。

家族の幸せ、社員の幸せ、ステークホルダーの幸せ、自分の幸せ、そんなことを最近はずっと日々追及しています。

また2025年から2026年にかけて全構協主催の人づくり研修では講師をさせて頂きます。

技術などの継承もそうですが、哲学的な考え方も後世の時代に伝えていかなければならないと思い、今回講師を引き受けました。その研修では入社5年目をターゲットに【あなたの成長が会社の未来につながる】というタイトルで、鉄骨の魅力・プロフェッショナルとは・理想の会社とは等の題目で研修をしていきます。まだ人生半ばの私が講師を仰せつかるなど非常に恥ずかしいのですが任された任務を全うし、自分の経験も踏まえて受講生に伝えてそれぞれの人生の目的と目標を持って行ってほしいと思います。

(日伸鉄工建設社長)

## モチベーションを「結果」に変える挑戦



理事

小室 健太

会社経営において「どうすれば社員のモチベーションを上げられるか」という議論は、あまりにも常識となっている印象です。しかし、私はここに根本的な違和感を抱いています。

私たちは、その前提が間違っているのではないかと。やる気というもの、最初から用意されて配られるものでは

なく、何かを成し遂げた後に、結果として、後から立ち上がってくるものではないかと。

これは、従来の経営論から見れば、乱暴で、青臭い挑戦かもしれません。この考えが本当に正しいのか、正直なところ、私にもまだ確信はありません。けれども、私はこの問いこそが、今の会社と社員の未来を拓くと信じています。だからこそ、自分の人生をかけて、この仮説を証明したいと考えています。

人は、誰かに与えられたご褒美ではなく、「昨日できなかったことができるようになった」という、小さな成長の実感を得た時にこそ、真の手応えを感じます。この積み重ねが、やがて「もっと良くしたい」という内発的な意欲、すなわちモチベーションへと変わります。もし、モチベーションを「原因」として会社を設計してしまうと、「やる気がなければ、しなくていい」という、気分依存の組織になってしまいます。気分によって左右される組織は、常に不安定で、大事な再現性を失い、積み重ねが効きません。

これは、気まぐれを許さないものづくりの現場を見れば明らかです。精度の高い仕事は、感情ではなく、正しい工程と仕組みの積み重ねでしか実現しません。良い仕組みがあれば、品質は安定し、誰が担当しても同じ強度が保たれる。現場は、仕組みによって支えられているのです。

会社もまた、人の機嫌や気分を土台にするべきではありません。私たちがつくるべきは、役割と責任が明確で、誰もが迷いなく、判断の基準を持って動ける「構造」です。

この構造の中で、社員が成長を連続して手に入れる。その結果として、自然と組織全体の活力が向上する。

私は、社員のやる気を管理しようとするのではなく、成長の連続が生まれる仕組みを、この手でつくり上げたい。モチベーションは目的ではない。それは、仕組みと行動から生まれる、最も

強力な副産物である。私は、この信念をもって、目の前の経営を全うしていきます。(小室鉄建社長)

## 腰椎椎間板ヘルニア



理事

谷村 朋昭

2025年5月下旬、右足のしびれを取るために指圧と鍼の施術を受けた際、お尻のあたりに鍼を打ってもらったところ、翌日から激痛で歩くことすらできなくなった。腰から右脚にかけて強い痛みが走り、寝返りも打てないほどで、約2週間ほとんど動けない状態が続いた。

痛みの原因を確かめるため整骨院でMRIとレントゲン検査を受けた結果、第4・第5腰椎の間で椎間板が飛び出し、神経を圧迫している「腰椎椎間板ヘルニア」と診断された。腰椎ヘルニアとは、背骨の間でクッションの役割を果たす椎間板が外に突出し、神経を刺激することで腰や脚に強い痛みやしびれを引き起こす疾患である。長年の姿勢や負担の蓄積に加え、今回の鍼が神経を刺激したことが引き金になった可能性もあるとのことだった。診断後すぐに、レントゲンを確認しながらブロック注射を受けたところ、見事に突出部分に当たり炎症が鎮まり、少しずつ痛みが和らぎ始めた。その後は医師の指導のもと、ストレッチや体幹トレーニングを取り入れながら慎重にリハビリを継続。地道な努力の結果、驚くほどの回復を遂げ、10月には鷹の台カンツリー倶楽部の倶楽部選手権に出場できるまでになった。予選36ホールのストロークプレーでは安定したプレーで6位通過。続くマッチプレーでは、1回戦を2&1で勝利し、同日に行われた2回戦も4&3で快勝。翌週の準決



勝 36ホールは接戦となったが、集中力を切らさず 2 & 1 で勝利した。迎えた決勝戦も 36ホールの長丁場。互いに譲らぬ展開が続き、残り 3ホールを 1アップで迎えたが、35ホール目で追いつかれ、最終ホールでは相手がチップインバーディを沈めて勝負あり。惜しくも優勝は逃したものの、4週間にわたり 36ホールを戦い抜いたことは大きな達成感でした。数か月前には歩くことさえできなかった自分が、再びクラブを振り、競技に挑めるまで回復したことを思うと、改めて「健康こそがすべての土台」であると痛感した。これからも無理をせず、心と体のバランスを大切にしながら、ゴルフを楽しんでいきたいです。（谷村製作所社長）

## 仕事以外の気分転換 パート2



理事

山田 一臣

前はサウナの聖地しきじと草加健康センターの話をしたが、今回は北海道サウナの話をしたと思います。

北海道ではサウナは盛んのようにです。

ここ最近、オープンした札幌のザ・センチュリオンサウナはサ室の温度が 100℃ありサウナでは温度が高い方です。熱波師によるアフグースイベントではサ室の温度が高いため、ととのいレベルがかなり高いです。

札幌のニコリーフレは『北の絶対王者』と呼ばれ、サ室での熱波師によるアフグースイベントではニコリーフレ名物『イチ・ニー・サウナー』の掛け声が有名です。

ロウリュウで熱々のサ室で熱波を頂きつつかく汗は格別です。ニコリーフレでは超有名熱波師のエレガント渡会

さんと言う方が在籍していましたが、ニコリーフレから小樽の小樽天然温泉湯の花「朝里殿」に転職し総支配人になりました。

それから湯の花の敷地内にエレガント渡会氏監修のサウナオタルアーチがオープン！しました。

渡会氏はテレビドラマ『サ道』でも出演し『イチ・ニー・サウナー』を披露していました。長年熱波師として活躍していた渡会氏ですが、アフグースで肩を壊し約三年間アフグースは行っていませんでした。

今年の 9 月にサウナオタルアーチ 1 周年記念で、渡会氏が三年振りの熱波師復活祭を行うということで、これは熱波を受けに行くしかない！と思い、早速 SNS で確認しネット予約をして小樽に行くことにしました。サウナオタルアーチはかなり手が込んでいてサウナーのためのサウナ！という感じでした。

サ室は 4 つでサウナが苦手な方でも入れるサウナ（75℃）から瞑想サウナ（80℃）、サ室の中に水風呂が有る珍しいサウナ（85℃）高温サウナ（95℃）の計 4 つです。水風呂も 4 つあります。

ここのサウナの特に良いところは北海道では珍しいととのいスペースが外で綺麗な山々の森林の景色を見ながらととのえる事です。

ひと通りサウナを満喫した後、本日のメインイベントのエレガント渡会氏のアフグースイベントが始まりました。

サ室内ではファンが三年振りのアフグースを待ち望んでおり、私は万全の心構えで臨み、まるでファースト・キスをするように静かに目を閉じました。エレガント渡会氏が奏でる熱波はとても言葉では表せないような『優雅で上品でなめらかな風』でした。

パワー系の熱波師は沢山いますが、彼以上に所作の美しいロウリュウは見たことがありませんでした。

渡会氏の風を頂いた後、外のととのいスペースであり記憶がないがここ最近の中では最もととのった日でした。

今回のサウナ旅北海道編はこの辺で筆を置きたいと思います。

（ヤマダ工業社長）

## 置き換えの時代に残る“人の仕事”



理事代理

寺島 成美

昨年の夏、テレビで「7時10分前集合と言われたら何時に来る？」とインタビューするコーナーがありました、我々世代は当たり前のように「6時50分」と答えるでしょう。

ところが、わが子を含めた Z 世代は「7時7～8分頃かな？」と答えます。

最初は意味がわかりませんでした、よくよく考えると「なるほどな」と腑に落ちました。

近年、「多様化」という言葉を耳にする機会が増えました。働き方、家族の形、人とのつながり方など、かつて“当たり前”とされてきた価値観が、今ではひとつの選択肢に過ぎなくなっています。

便利さや効率だけを追い求めていた時代から、個人の生き方や考え方を尊重する時代へ。

大切なのは「違いを受け入れる」だけでなく、「違いから学ぶ」姿勢。多様な価値観が交わる場所にこそ、新しい発想や温かいつながりが生まれるのかもしれない。

当社では受注活動に必要な不可欠な「積算」の作業に“当たり前”からの変化をしていかなければなりません。以前は人数も多く、ベテランが重要な主部材（柱・大梁）を、若手や勉強中の新人が小梁等の軽量な部材を積算し

ていました。今は図面をみただけで重量や溶接長を言い当てるような経験豊富なベテラン社員も少なくなり、積算担当の人員も大幅に減り今後も増員が見込めない状況です。

少ない社員の能力にも限界があるので「人」にかわる新しいツールとしてCAD/CAMシステムを活用した積算ソフトを導入しました。人が“当たり前”のように行っていた作業は確実に機械へと置き換わっていくと思います。試行錯誤しながら今までとは逆の発想で主部材（柱・大梁）をソフトが行い、共通性の少ないブレース取合いや小梁・付帯工事等を「人」が積算する事にしました。便利さは増し、ミスは減り、スピードが上がるであろうと目論んでおります。こうした“人”に変わるもの”の存在は、わが業界にとって心強い味方です。

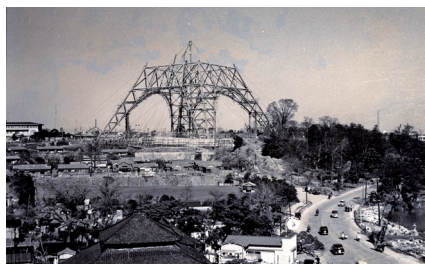
しかし、技術が進むにつれ「人は何をするのか」と疑問が生じます、答えのヒントは、「置き換わらないもの」にあると思います。難易度等を読み取る感覚、経験から得た勘、判断のための観察力等々。効率化の波がどれだけ押し寄せても、これらは簡単には機械に委ねられません。

作業は機械に任せ、空いた時間で“人にしかできない”価値を磨く、それが今後の課題だと思います。

「人に変わるもの」が増え続けても、人にしかできない価値は残ります、次の世代が迷わず一歩踏み出せる道を作りバトンタッチしていくのがこれからの使命と考えております。

（今年の個人的な目標は、若い人の“当たり前”に迷わず付いていく事です）

（川岸工業執行役員営業統括部長）



## 幸福な年になります様



理事代理

村木 晃次

本年も倍旧変わらぬお付き合いを賜ります様宜しくお願い申し上げます。

さて昨年は、アメリカのトランプ政権2期目の発足後、連邦政府機関の人員削減、移民の取り締まり、主要貿易国相手に対し関税を進め、特に「トランプ関税」に関しては27.5%から15%で決着したものの国内では輸出が抑制され、帝国データバンクの調査結果によれば国内企業の約1万3000社へ影響を及ぼした。その結果、我々の業界においても設備投資等に関わる案件にストップがかかり延期や中止の案件が出て2025年度の受注に多大な影響を及ぼした。また、国内においてはコメ価格が2024年5月（5kg＝2264円）より跳ね上がり、2025年5月には倍の価格（5kg＝4689円）まで上がり政府の備蓄米を放出するも依然高い水準を保っており家庭に打撃を与え続けている。

一方、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が4月13日～10月13日の半年間開催され約2900万8000人が来場した。そうしたイベントもありインバウンドは、過去最高で推移しており2024年3687万人から2025年は約4700万人、2026年には5100万と予測され宿泊業・旅行業・飲食業・交通業・小売業にはフォローの風が吹き始めている。

また、政治においては10月21日に第104代の女性初内閣総理大臣が誕生し大きな期待がかかっておりその月の株価も一時5万円を超越した。

引き続き2026年もこの流れに乗り我々の業界にも風通しが良くなるように願いたい。

さて、日本においての人口は2004年12月の1億2784万人をピークに減少していき2040年台には1億人を切り高齢化率も益々進んでいるだろう。

近年、わが業界においてもその影響から人員不足が騒がれてきており施工現場だけでなく鉄骨製作工場、作図の分野においても外国人労働者が必要不可欠となり増加の一途を辿ってきている。このまま進み続けると米国のように移民問題に直面すると思われるが、日本固有の文化や風習、風紀を守りながら節度と秩序を保ち共存することを願わずにはいられない。

また、2026年が皆様にとって「幸福な年になります様」に願い私の今年の言葉とさせていただきます。

（アイ・テック東京支社・建築事業部営業部部長）

## 1年間の育児を振り返って



山本 響介

東構塾9期生 川岸工業の山本響介です。去年は「4週間の育児日記」と題して育児休暇中の振り返りを投稿させて頂きました。気付けば東構塾も最終講義を終え、子供も0歳から1歳となりました。

さて、今年は人生初の「育児」に取り組んだ1年間を振り返り記憶に鮮明に残っている一場面を2つ、この場を借りて文章に残したいと思います。去年同様に正月早々明るい話題を提供出来ればと思った次第ですので、お時間ある時にご一読頂けますと幸いです。

1つ目の記憶は「ハイハイ」の始めたの時期です。生まれた頃は自分から動く事も出来ず、表情も唯々真顔で中々本人の感情が読めませんでした。しかし、ハイハイをし始めた頃からは



笑顔も増え、途端に良く喋るようになりました。時々、「マーマ」や「パーパ」と喋っている事もあり（あるいは「マンマ」とご飯を欲しているのか…）、そういった姿を見ると成長を感じ、嬉しくなります。ただ、一度起きると夜中だろうと関係無くひたすら喋り続け、話し相手欲しさに何度も父と母を叩き起こすのは勘弁して頂きたいですが…。(文章を作成している今も子供に叩き起こされまもなく深夜1:00、これも育児の醍醐味なのかもしれません。)

もう1つ鮮明に残っている記憶は「食事」です。よく食べる子はよく育つと昔からよく言いますが我が家の子供は食事に対して大変ストイックです。1歳になった際に初めての外出という事でファミレスに家族で行きました。私と妻がそれぞれ定食を頼み、子供は薄味のお子様セットを頼みました。ご飯の量としては5歳時想定

だった様で全部は食べきれないだろうなあと思っていた矢先、15分程で全てを平らげてしまいました。さらに私のつまみの「ポテト」まで数本食べてしまいました。本人は幸せそうでしたが私としては「こんなにお腹がパンパンになるまで食べるのはおかしいのでは…?」と少し心配になりました。(後日、保育園に相談してみるとたくさん食べるのは良い事なので問題無いですよとの回答が有り一安心しました)この日を境に保育園でもよく食べる様になった様で最近少し体系もぷっくりしてきました。そういった姿を見るのも成長を感じ、育児をしていて良かったと思う瞬間です。

1年の育児、振り返るとあっという間に12ヵ月過ぎてしまいました。夜、寝れない時や何やっても泣き止まない時など苦しい時もありますが、成長を感じ何とも言えない喜びを感じる瞬間もあります。今年はどんな成長を感じる事が出来るのか、それを楽しみに今

年も仕事と育児に励んでいきたいと思っています。皆様、今年1年もどうぞよろしくお願い致します。

(川岸工業営業部営業課)

## 研修行事で 大阪・関西万博を見学

当組合は10月9日、出張理事会の研修行事として大阪・関西万博に来場、13人が参加した。午前中に「電力館 可能性のタマゴたち」を見学後、各パビリオンの鉄骨を見学した。



2025 全鉄評発第 17 号  
2025 年 11 月 20 日  
国土交通大臣認定工場代表者様

株式会社全国鉄骨評価機構

### 品質管理体制の維持に関する定期報告 の実施と性能評価の失効について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は性能評価事業に対し格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、管理技術者等の変更届については、昨年10月に届出様式を改め、1ヶ月以内に提出するよう周知徹底を図ってきましたが、届出期限が守られないことや、変更内容を確認する際、管理技術者等が配置されていない状態(空白期間)が判明することがありました。

管理技術者等の空白は、大臣認定の前提となる性能評価基準を満たさない

ため、大臣認定の取消しにつながる大きな問題です。

このような状況を評価機関が把握できていないことについて国土交通省から改善が求められ、その対処方法について協議を重ねた結果、管理技術者等に空白が生じた場合、性能評価を失効させることができるとし、その場合、大臣認定が取り消されることとなるよう 約款等を再改正することになりました。また、空白が生じないよう適切な管理を促すことを目的として、評価機関が認定工場に対し、管理技術者等の状況を定期的に報告するよう求めることになりました。

つきましては、下記2点の運用を2026年4月1日より開始しますので、ご対応下さるようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 性能評価の失効について  
性能評価業務約款細則第 17 条第 1

項(「別添 1」参照)に基づき、次に該当する場合、性能評価の失効(大臣認定の取消し)の対象となりますので、国土交通省に報告します。

- ①品質管理体制等に変更があり、評価を受けたグレードに適合しなくなったにも係わらず性能評価の申請を怠ったとき
- ②届出・報告を怠り、督促にも応じないとき
- ③虚偽の届出・報告があったとき
- ④その他、虚偽申請による大臣認定の取得や重大な不正が発覚したとき

### 2. 定期報告の実施について

品質管理体制(管理技術者等)を確認するための報告を、「別添 2(認定工場の品質管理体制等に関する定期報告について)」に基づき実施します。

## 理事役員会報告

### ◆1月理事会◆

□1月16日、アルカディア市ヶ谷□。

理事会では、吉岡理事長が全構協の見積条件書特記事項について報告。「組合のウェブサイトで3月末まで公開されているので内容を確認し、活用を推進していただきたい」と周知した。

理事会終了後、同所で新年賀詞交歓会を開催。組合員、来賓、協力会関係者ら64人が出席した。冒頭のあいさつで吉岡理事長は「ファブ経営者にとって厳しい状況が続いているので、力を合わせて乗り越えていきたいと思っている。われわれも古い慣習から脱皮しながら進化していくために、ご協力をお願いしたい」と述べた。



### ◆3月理事会◆

□3月5日、組合会議室□

吉岡理事長は開会のあいさつで、「競争が激しくなっているが、仲間意識を忘れずに相互で協力し合って、仕事量の谷間を埋めていくしかない」と団結を呼びかけた。

教育・技術委員会からは、フェーズドアレイ合同委員会が有効な検査データを蓄積して検証するためとして、実物件での事例を数多く集める必要性が説明された。審議事項では、5月29日に開催を控える第39回通常総会の議案について協議した。

### ◆4月理事会◆

□4月24日、組合会議室□

理事会では主に、5月29日に開催を

控える第39回通常総会の議案について協議。24年度の事業・決算報告や表彰者、性能評価更新等会員名簿、25年度の事業計画・予算の最終確認を行ったほか、総会当日の役割分担について審議し、承認した。また、25年度鉄骨製作管理技術者受験準備講習会の開催案内の内容や送付時期についても決定した。さらに、3月に大阪で開催した関東支部と近畿支部の合同支部会について吉岡理事長が報告した。

### ◆5月理事会◆

□5月29日、アルカディア市ヶ谷□

理事会の審議事項では当日行う通常総会の担当などを改めて確認したほか、その他で、出張理事会の開催について10月に大阪・関西万博見学を候補として挙げ、今後具体化に向けて検討していくことにした。

また、各社の状況報告では「仕事を確保することで精いっぱい。稼働率は70～80%で推移」「物件の中止や延期が相次いでおり、受注が流動的となっている」という厳しい状況を訴える報告が目立った。



### ◆6月理事会◆

□6月23日、会議組合室□

理事会では全構協、同関東支部、各委員会滑動などを報告。通常総会後の理事会でもあり、理事役員の委員会など担当を改めて確認したほか、PA検査法WG事業活動継続分担金の支出を審議、これを承認した。また、出張理事会は10月9～10日の日程で大阪・関西万博見学などの研修を兼ねて実施することにした。予約手配などの関係も

あり、次回理事会で参加者を決定することになった。



### ◆7月理事会◆

□7月24日、組合会議室□

吉岡理事長は「10月に出張理事会の開催を予定している。今回は大阪・関西万博などの見学を予定しているが、研修行事として有意義な内容とした」とあいさつを述べた。

理事会では「鉄骨製作管理技術者」受験準備講習会では現在の申込者数を報告。同時に審議事項で、例年会場として使用する連合会館が来年改修工事に入るため、26年度は会場をアットビジネスセンター東京八重洲（東京都中央区）に変更することを承認した。

同理事会では地区会の開催についても協議。協力会メンバーが、自社PRができる場として今年も開催を決めた。



### ◆9月理事会◆

□9月9日、組合会議室□

理事会では全構協、同関東支部、各委員会滑動などを報告。フェーズドアレイ合同委員会では、フェーズドアレイ探傷器の操作法研修を埼玉県鉄構業協同組合で22日に開催することを報



告した。また、鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を27と28日に開催するが、受講者数は1級が202人、2級が127人の予定であることが報告された。

審議事項では組合広報紙「リポート東構協35号」の編集内容を確認。発行は来年1月15日付とした。

吉岡理事長は冒頭のあいさつで「猛暑が続いており、熱中症にかからないよう体調管理に留意してほしい。また、各社がどのような対策をとっているか、そうしたことの情報も共有して頂きたい」と述べた。



#### ◆ 10月理事会◆

□ 10月10日、大阪市中央区L&Cス

ペース□

出張理事会を開催した。吉岡理事長は「昨日は大阪・関西万博を見学することができ、有意義な研修事業となった。来年度の事業運営に関わる審議事項など、しっかり協議していきたい」とあいさつした。

理事会では全構協、同関東支部、各委員会活動などを報告。また、後期の工場性能評価認定について対象企業を確認し、年度内に審査の実施を予定している。審議事項では組合広報紙「リポート東構協35号」を活用した協力会員の情報発信や、協力会との相互協力と連携強化のほか、第11期以降の東構協運営体制について協議した。



#### ◆ 11月理事会◆

□ 11月20日、組合会議室□

理事会では25年後期の性能評価やフェーズドアレイ行動委員会、全国RJグレード部会、東構塾、青年形成者委員会研修など、今後の事業のスケジュールのほか、来年3月15日に行う東京鉄構三団体研修旅行について、幹事団体の東京足立鉄骨工業会から提出された実施概要を確認した。また、審議事項として、12月15日に行う忘年会について協議した。

#### ◆ 12月理事会◆

□ 12月15日、組合会議室

理事会では組合広報紙「リポート東構協36号」の制作状況と1月15日付の発行を確認した。また、青年経営者委員会は1月25、26日の日程でデータロジック（山口県萩市）への研修を実施する予定。審議事項では1月15日に開催する賀詞交歓会の来賓、担当などを決定した。

## 地区会員名簿

### 東地区(26社) 地区会長 (株)角鹿鉄工 角鹿勝保

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1	川岸工業株式会社	H	10	富士工業株式会社	M	19	株式会社コイワ	未
2	叶産業株式会社	H	11	株式会社日伸鉄工建設	M	20	株式会社長谷川工業	未
3	株式会社市川スチールエンジニアリング	H	12	中央ビルト工業株式会社	M	21	株式会社矢萩鉄工	未
4	株式会社谷村製作所	H	13	株式会社ヤマダ工業	M	22	株式会社奥村鉄構	未
5	中央鋼材株式会社	H	14	鈴木鉄工建設株式会社	M	23	株式会社幸栄工業	未
6	株式会社アイ・テック	M	15	有限会社高市工業	R	24	津覇車両工業株式会社	未
7	株式会社前田製作所	M	16	株式会社角鹿鉄工	R	25	有限会社三鈴鉄工	未
8	吉岡工業株式会社	M	17	三進建鉄有限会社	R	26	株式会社オオタケ	未
9	株式会社中込工業所	M	18	小久保鉄工株式会社	R			

### 西地区(21社) 地区会長 (有)坂爪鉄建工業 坂爪幸男

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1	株式会社矢嶋	H	9	井戸鉄建株式会社	M	17	株式会社酒多鉄工所	R
2	東京建鉄株式会社	H	10	株式会社かしや建設工業	M	18	有限会社天野鉄工所	R
3	松田鋼業株式会社	H	11	株式会社三侑鉄工	M	19	有限会社山上建設工業	R
4	池田鉄工株式会社	M	12	有限会社坂爪建鉄工業	M	20	有限会社石川鉄工所	R
5	日本鉄構建設工業株式会社	M	13	有限会社金谷鉄工所	M	21	株式会社帝都建工	未
6	小島工業株式会社	M	14	株式会社小室鉄建	M			
7	株式会社鎌建工業	M	15	株式会社ヤマトミ	M			
8	井上鉄工株式会社	M	16	島崎工業株式会社	M			

東京鉄構工業協同組合協力会員名簿

役職	会社名	〒	住 所	TEL	FAX	代表者	役職	業種・取扱商品
						担当者		
会長	野村産業株式会社	206-0812	東京都稲城市矢野口 786-1	042-377-6369	042-377-6375	野村 宗孝	代表取締役社長	高圧ガス、溶接機材、工具 産業機器、ボルト、住設機器
						伏見 翔太	所長	
副会長	富士見興業株式会社	166-0003	東京都杉並区高円寺南 1-27-11	03-3314-1430	03-3314-5819	石塚 勲	代表取締役社長	高圧ガス、溶接材料 機械、工具
						市川 陽亮	主任	
幹事	大日本塗料株式会社 東京営業所	144-0052	東京都大田区蒲田 5-13-23 TOKYU REIT 蒲ビル 8F	03-5710-4501	03-5710-4520	山田 昌史	所長	全構協指定塗料 錆止め塗料
						根本 隆史	課長代理	
幹事	株式会社アマダマシナリー	260-0041	千葉県千葉市中央区東千葉 3-15-32	043-207-5235	043-207-5258	小宮 健夫	関東ブロック長	バンドソー用ブレード
幹事	大同生命保険株式会社 東京支社	103-0016	東京都中央区日本橋小網町 17-10 日本橋小網町スクエアビル	03-3667-8121	03-3667-8122	道村 修	営業推進部長	生命保険 共済保険
幹事	中村鉄興株式会社	359-1164	埼玉県所沢市三ヶ島 1-478	04-2948-0610	04-2949-2209	中村 弘美	代表取締役	切り板 孔あけ
幹事	東京フラッグ株式会社 八潮支店	340-0833	埼玉県八潮市西袋 2 番地	048-953-9895	048-953-9896	滝沢 健一	取締役支店長	スタッド溶接工事 材料販売
監査	ダイニッカ株式会社 東京支店	104-0032	東京都中央区八丁堀 1-9-5	03-3552-3163	03-3552-3162	黒須 俊一		全構協指定塗料 錆止め塗料
	株式会社星和	121-0052	東京都足立区六木 2-6-30	03-3605-0817	03-3605-3521	星野 傳弘	代表取締役	鋼材、建築資材
						小嶋 清高	専務取締役	
	所沢資材株式会社	359-0032	埼玉県所沢市若松町 852	04-2992-0231	04-2998-0570	小高 進一	部長	ベースパック ハイベース
						佐藤 庄悟	主任	
	フルサト工業株式会社 神奈川営業所	242-0025	神奈川県大和市代官 3-1-2	046-267-5424	046-268-1051	立岩 嵩章	所長	鉄骨副資材 ボルト
	美鈴印刷紙工株式会社	135-0033	東京都江東区深川 2-24-11	03-3643-4485	03-3642-3265	飯島 康弘	代表取締役	印刷・原寸用フィルム 製造販売
						佐藤 智輝	商事部部长	
	株式会社瑞穂鋼建	277-0054	千葉県柏市南増尾 1-27-14	04-7173-6652	04-7173-8485	塚田 武治		ベースパック、フリードーナツ ファブラックス
	株式会社山村	372-0022	群馬県伊勢崎市日乃出町 644-1	0270-24-7712	0270-24-9791	内山 直哉	常務取締役	レーザー加工、プラズマ加工 ショット加工、開先加工、ボルト
						斎藤登志光	営業係長	
	旭化成建材株式会社 住建事業部 東京構造資材営業部	101-8101	東京都千代田区神田神保町 1 丁目 105 番地	03-3296-2843	03-3296-3518	田中 佑来		ベースパック、フリードーナツ ファブラックス
	コンドーテック株式会社 東関東営業所	262-0003	千葉県花見川区宇那谷町 1504 番 2	043-216-6166	043-216-0072	山本 幸明	所長	鉄骨副資材 プレース、ボルト
						加藤 翔太		
	HANABI 株式会社	123-0841	東京都足立区西新井 6-30-6	03-5376-1378		LE LONG	代表取締役社長	人材派遣、建設設計 ベトナム鉄工所
	茅ヶ崎総合コンサルティング	104-0045	東京都中央区築地 3-2-3	090-1795-3117		阿部 信一	代表取締役	コンサルティング業
	武部産業株式会社	279-0025	千葉県浦安市鉄鋼通り 1-1-6	047-354-0541	047-354-3946	長澤 裕介	代表取締役	鋼板加工
						長澤 雅光		

編集後記

鋼構造製造業におけるデジタル化と持続可能性が導く未来とはどんな姿なのだろうか。

近年、製造業を取り巻くデジタル化と持続可能性の二大潮流は、建築業界、特に鋼構造製造業に強く影響しており、ここ2年でBIM、AI、ロボットなど先端技術

の導入は、設計から施工までのプロセスを一段と効率化させ、LCAに基づいた環境負荷の少ない建物の建設は、もはや標準要件となっている。

一方で、「3K」と呼ばれる厳しい労働環境は依然として存在するが、デジタル化による生産性向上は、課題解決に留まらず、働き方改革や安全性の向上にも寄与し、より魅力的な職場づく

りへと繋がっている。

伝統技術とデジタル技術の融合、サプライチェーン最適化、新たなビジネスモデル創出を通じて、鋼構造製造業は持続可能な業界へと生まれ変わる過程にあり、特に中小企業のデジタル化支援と人材育成強化は、2026年以降も業界発展の鍵となると思われる。

(事務局長 蓬田正則)